第25回　文化講演会

植物画（ボタニカルアート）の醍醐味と雑草の魅力

芸術は魂を救う

講 師　植物画家　松本千鶴 氏

令和7年（2025年）2月16日（日）13:30～15:00
（13：00開場）

会場：平塚市中央公民館　4階小ホール（定員200人）
（入場無料・申込不要）

講師プロフィール

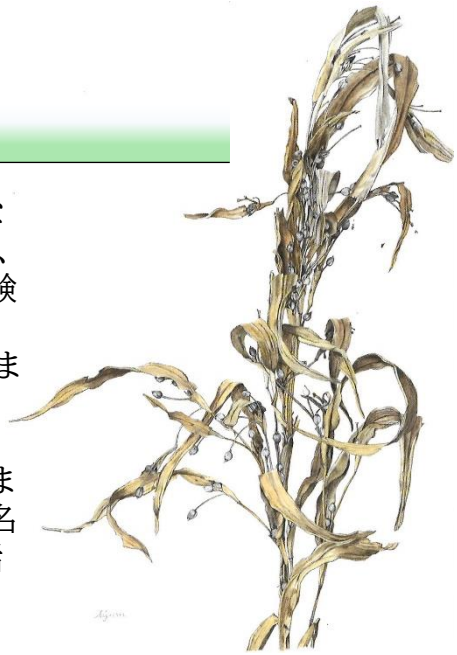
1951年	東京都福生市生まれの現在73歳 茅ヶ崎小、藤が岡中、湘南高校卒業
1975年	東京芸術大学美術学部芸術学科卒業 藤沢市立長後中学校美術科教諭として79年まで勤務
1987年	横浜関内の朝日カルチャーセンターにて故佐藤広喜氏に植物画を学ぶ
1997年～現在	個展多数開催
2009年	初画集『草花に想いをよせて』を出版
2014年	法務雑誌『自治実務セミナー』（第一法規　月1回発行）11月号より松本千鶴の絵が表紙に採用される
2016年2月～	ブログ「松本千鶴やすらぎのボタニカルアート」を友人達の協力で開始
現在	平塚市の自宅等で植物画教室を主宰

講演会概要

人生長く生きてくると、受け止めることが辛いと感じられる様々なことが起こってきます。心が折れそうになっている危機的状況の時、私にとって救いになったのは植物の絵を描くことでした。そんな体験も交えて植物画の醍醐味をいくつかお話してみたいと思います。

2020年には『湘南の身近な草との語らい』（幻戯書房）を出版しました。身近な雑草の数々を描きましたが、友人の一人は、この画集は人々の雑草へのとらえ方に対する啓蒙書だと言ってくれました。

世の中には雑草は困りもの、取り除くべきものと思っている人がまだまだ多いです。牧野富太郎博士は「雑草という草はない」という名言を残されています。あまり知られていない雑草の生きざまのお話が、雑草を見直す一つのきっかけになれば幸いです。



問い合わせ：平塚市教育委員会　社会教育課　0463－35－8123

この講演会は地域文化の向上、市域社会の活性化のために一般市民を対象として開催するものです。
どなたでもご自由に参加できます。ご来場につきましては公共交通機関のご利用をお願いします。

主催　平塚市文化連盟　／　後援　平塚市教育委員会